

令和 8 年 2 月 1 2 日

株式会社博報堂

兵庫教育大学 山本照久

委嘱業務完了および実績報告書

資源エネルギー庁「令和 7 年度エネルギー需給構造高度化対策調査等事業（エネルギー教育推進事業）地域におけるエネルギー教育実践事業」における令和 7 年 6 月 1 2 日に委嘱された内容について、委嘱業務の完了と実績を以下の通りご報告いたします。

・委嘱概要

特別委員氏名	山本 照久
委嘱期間	令和 7 年 6 月 1 2 日～令和 8 年 2 月 2 8 日
実践タイトル	エネルギーの魅力 大発見！ －中学校及び特別支援学校社会科における魅力あるエネルギー教育の実践－

・実施事項

中学校 4 校と特別支援学校中学部の社会科担当の協力を得て、エネルギーの必要性や可能性など、持続可能な社会を考えるうえでのエネルギーの魅力に気づかせる社会科授業を、資源エネルギー庁副教材を必ず活用し、エネルギー教育の 4 つの視点ごとに実践した。実践前には、参加可能な協力者が集まり、事前に授業検討会を行った。

視点 1：：エネルギーの安定供給の確保

2 年地理 日本の資源・エネルギーと電力（令和 7 年 7 月 1 5 日）

実践者：姫路市立大津中学校 江沼友香 先生

視点 2：地球温暖化問題とエネルギー問題

1 年地理 脱炭素社会に向かうヨーロッパ（令和 7 年 1 0 月 3 1 日）

実践者：加古川市立志方中学校 藤原直人 先生

視点 3：多様なエネルギー源とその特徴

2 年社会 地方ごとの発電方法の特徴を考えよう（令和 7 年 1 1 月 6 日）

実践者：加古川市立別府中学校 松尾容花 先生

中学部社会 ソーラーカーレースをとおしてエネルギーに触れよう

（令和 7 年 1 0 月 2 3 日、1 2 月 4 日）

実践者：兵庫県内特別支援学校 大西亜由美 先生

視点4：省エネルギーに向けた取り組み

2年社会 徳島から世界へ 青色LEDに代表される日本の省エネ技術

(令和7年10月23日)

実践者：加古川市立陵南中学校 原 孝彰 先生

5つの授業動画を各自が視聴し、それぞれの授業へのコメントをまとめた。それらをもとに、中学校社会科の4つの実践を実践成果報告冊子にまとめ、100部印刷した。冊子は、授業実践校やエネルギー環境教育研究会かこがわクラブ、エネルギー環境教育関西ワークショップ研究会などのエネルギー教育に関心のある教員に配布する予定である。

・成果 ※実践成果報告冊子参照

- ・エネルギーの4つの視点ごとに、これまで実践されていなかった教材開発ができた
- ・授業後にエネルギー講演会は開催できなかったが、それぞれの授業でエネルギーに関心をもつ生徒が増えた
- ・5校すべての教員にエネルギー教育への関心を持たせることはできなかったが、授業を参観した教員や管理職に、エネルギー教育の必要性を伝えることができた
- ・さらに実践成果報告書を授業実践校に配布することで、さらなる関心が高まることが期待できる
- ・実践成果報告書をエネルギー教育関係者に配布することで、その関係者から、今後、多くの教員に本実践が広がる可能性がある
- ・どの授業もエネルギーへの魅力を生徒に感じさせる授業で、今後、授業分析を進め、改善を図ることで、さらなる魅力アップを進めたい

・今後への課題

- ・多くの特別委員が実践している内容を、若い教員に伝える場をつくっていき、エネルギー教育の重要性を伝えていくことが必要
- ・いくつかの学校で実践する場合は、管理職への説明が重要で、この事業に対する事務局の趣意書がカギとなるので、次年度もこの事業があるなら、学校が取り組みやすい趣意書を作成してほしい
- ・エネルギー教育を広めるためにも、今回の事業の成果発表会をオンラインで行うなどして、参加者を募集して開催してはどうか
- ・事業費としての20万円は、たいへんありがたいが、使いにくい面が多々あり、使いきれない結果となったので、改善をお願いしたい
- ・できれば、年度末の一括払いではなく、せめて、年度途中と2回に分けての支払いにならないか